

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 日本史B	2年	理系3 文系3	詳説日本史B 改訂版 (山川出版社)	図説 日本史通覧 (帝国書院) 詳録新日本史史料集成 (第一学習社)
科目の概要と目標		我国の歴史の展開を、世界史的視野に立ち国際環境を関連づけて考えることで、歴史的思考力と現代に生きる日本人としての資質を培う。		
単元	学習内容		到達度目標	
序章歴史の考察			・歴史の学び方と史料（資料）の読み方を勉強し、意味を理解する。	
日本文化の黎明 古代国家の形成と東アジア	原始社会の生活と文化 農耕の普及と社会の変化 国家形成と東アジア文化 推古朝の政治 飛鳥文化 律令体制の成立 白鳳文化 奈良時代の政治 天平文化		・旧石器時代や縄文時代を通して、文化や生活の原点を学ぶ。 ・縄文時代と弥生時代の差異を水稻農耕の観点から考える。 ・統一国家形成の過程を東アジア諸国との関係を含めて理解する。 ・豪族間の対立や聖徳太子の政治を当時の国際関係で考える。 ・飛鳥文化がギリシャ文化の潮流の先にあることを知る。 ・大化改新を東アジアの国際関係の中で捉える。 ・初唐文化の影響を受けた文化を理解する。 ・奈良の政変や土地政策の変化を理解し、律令制度の動揺を読みとる。 ・古代仏教文化の特色を諸寺院・諸像などを通して理解する。	
古代国家の推移と社会の変化	平安初期の政治 弘仁貞観文化 摂関政治の確立 国風文化の形成 荘園の発達と武士の台頭 院政と平氏政権 平安末期の文化		・古代における遷都の意味を、平安京遷都を通して理解する。 ・密教を中心にして平安初期の文化を理解する。 ・摂関政治の成立過程を藤原北家の台頭を通して考える。 ・文化の国風化が加速する様子を様々な作品を見ながら理解する。 ・荘園の構造と武士の台頭を両者関係性から考察する。 ・院政と摂関政治の違いを理解し、武士の地位が向上する様子を見る。 ・地方でも文化が興隆する様子を民衆側の視点から考える。	
武家政権の成立	鎌倉幕府の成立と武家社会 執権政治の展開と農村の動き 鎌倉時代の文化 蒙古襲来と鎌倉幕府の滅亡		・源平の争乱と鎌倉時代の土地支配を中心に武士の世を捉える ・北条氏を中心とした執権政治の特色を成立過程から考える。 ・鎌倉新仏教を中心に、武士・庶民の文化を理解する。 ・元寇の意義を東アジア史と幕府滅の両面から考える。	
武家政権の展開と社会の変化	南北朝の争乱と室町幕府 社会の変化と民衆の成長 東アジアと日本 室町時代の文化 戦争争乱とヨーロッパ人の来航		・建武の新政から南北朝の争乱を室町幕府成立の視点から考察する。 ・民衆の動きと幕府の衰退から室町時代の特色を考察する。 ・日明貿易を中心に東アジアの国々との対外関係を理解する。 ・室町文化の持つ庶民性が現代に受け継がれていることを理解する。 ・下剋上とヨーロッパ人がもたらした影響を考察する。	
織豊政権と幕藩体制の形成	織豊政権の成立 桃山文化 幕藩体制の成立と鎖国		・信長、秀吉による統一過程を理解する。 ・国際色に富んだ、雄大豪華な文化を理解する。 ・幕藩体制と諸制度との相互関係を理解する。鎖国の影響を考察する。	